

転出・退職される方々からのメッセージ

『ありがとうございました』

【転出・退職者の紹介】

- 校長 青坂 信司
(別海町立上西春別中学校へ)
- 教諭 小林 亜津子
(中標津町立中標津東小学校へ)
- 教諭 穴戸 威之
(北海道中標津高等養護学校へ)
- 教諭 志賀 満里子
(別海町立西春別小学校へ)
- 公務補 穴戸 ひろみ
(退職 中標津町へ)

《校長 青坂 信司》

野付小学校に前任の大沼校長先生の代役として着任して以来、早いもので、もう3年が経ちました。この間、様々なことがありました。私自身の力不足で、色々な方々にご迷惑をおかけすることもあったのではないかと思います。しかしながら、そのたびに多くの方々に支えられて、何とか3年間を過ごすことができました。

「野付を愛し、野付を誇れる子になってほしい」というのが私の願いでした。そのために「野付学」という学びの時間を作りました。その中で、野付の自然や産業等を学びました。これは子ども達だけでなく、私自身にとっても大変貴重なものとなりました。この野付学が出来たのも地域の皆様のお陰だと思っています。

また、この野付という地で思い出に残ることも数多くあり、貴重な体験をさせていただきました。野付小学校で校長職をできたことを心より感謝申し上げます。本当に、野付小の子ども達、保護者の皆様、そして地域の皆様には感謝、感謝です。本当にありがとうございました。

《教諭 小林 亜津子》

7年前、20数年ぶりに野付に戻ってきました。当時中学生だった子どもたちが、立派なお父さん、お母さんになっていました。また、その子どもたちを教えることになり、孫を教えるような気持ちでした。

尾岱沼は私個人にとっても第二のふるさとです。ここで、結婚し第一子を出産しました。教師という職業柄、異動は仕方がないことですが、本音はもう少しこの地にいたかったです。尾岱沼の美味しい魚介類と青い海と、元気で明るい子どもたちと、威勢のいい保護者のみなさんのこといつまでも忘れません。

お世話になりました。さようなら。

《教諭 穴戸 威之》

3年間という短い間でしたが、野付にはたくさんの思い出があります。一番感動的だったのは、サケ漁の体験です。朝日に向かって出港し、漁場につくと、お父さん方が力強く網を引き揚げる。その網の中には、たくさんの銀色のサケが入っていました。その美しい光景に涙が出てきました。自然豊かで、食べ物がおいしくて、人情に厚くて、子どもたちのために努力を惜しまないこの地域と地域の方々がとても好きでした。子どもたちもみんな素直で、優しく、明るくて、本当にかわいい子たちばかりでした。

今回、縁があって、私の夢であった、ハンディキャップを持つ人々の就労に関わる仕事に就くことになりました。新しい地でも、精一杯努力していきたいと思います。

お世話になりました。ありがとうございました。

《教諭 志賀 満里子》

昨年6月から10ヶ月間、明るくパワフルな子ども達と一緒に過ごすことができ、私自身毎日元気をもらったことを感謝しています。

また、野付の豊かな自然を『野付学』を通して、子どもと共に学ぶことができました。将来、この地で活躍する子どもたちの今後を期待しています。保護者並びに地域の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。

《公務補 穴戸 ひろみ》

1月21日からの2ヶ月間という短い期間でしたが、公務補として野付小学校に関わることができたことをとても嬉しく思います。

元気にあいさつしてくれる子、優しい声かけをしてくれる子、休み時間の楽しそうな様子…。私は忘れません。

お世話になりました。ありがとうございました。



始業式は4月8日(月)です

春休みは・・・

- *雪山や軒下、水辺はとても危険です。遊ぶ時には近寄らないようにしましょう。
- *各学年で、復習資料が出ています。家庭学習にお役立て下さい。